

2023年3月期 第2四半期決算説明会資料

2022年11月30日
綜研化学株式会社

1. 全体総括

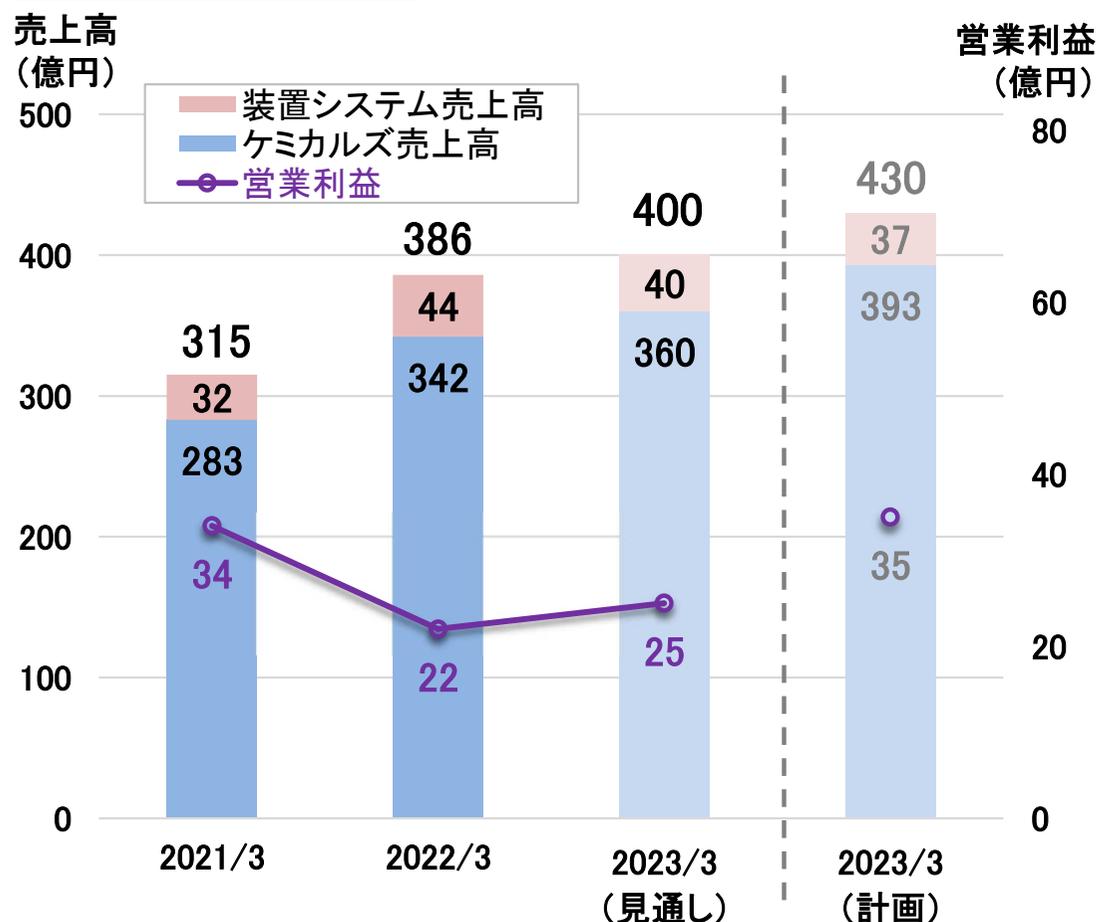
2. 2023年3月期 上期(第2四半期)連結決算

3. 2023年3月期 通期業績見通し

事業環境

- ✓ 地政学リスク悪化や海外主要国での金融引き締めによる景気減速の懸念
- ✓ 第2四半期における液晶ディスプレイ関連分野での生産調整の影響が当面継続
- ✓ 自動車・建材分野などの緩やかな需要回復
- ✓ 原材料価格は下落傾向で推移する見通し

業績見通し



(売上高)

- 期初の想定まで伸ばせず、前期から若干の増収に留まる見込み

(営業利益)

- 収益性改善が進むも、販売減の影響を受けて前期から微増見込み

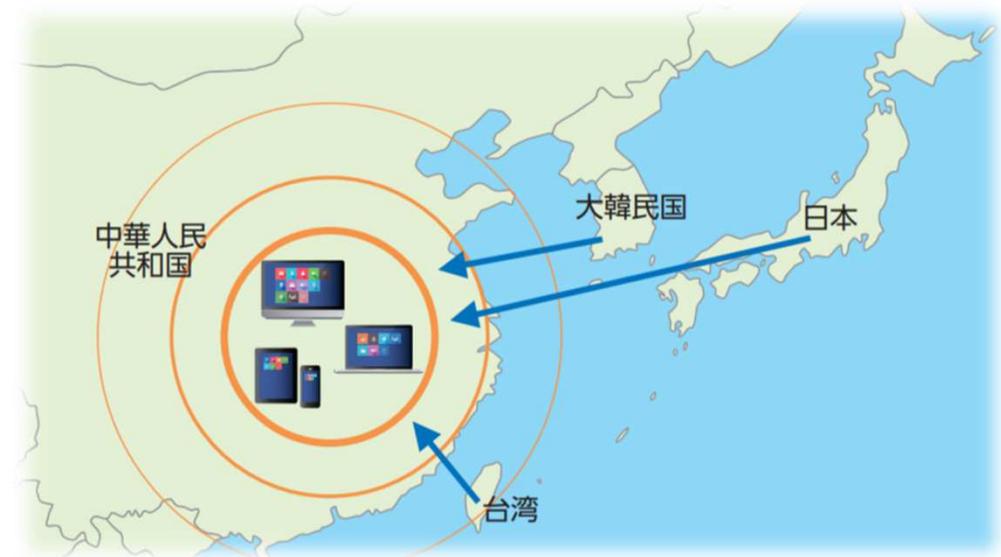
	2023/3 (見通し)	2023/3 (計画)
売上高	400億円	430億円
営業利益	25億円	35億円
営業利益率	6.3%	8.1%

◇収益基盤の拡大・強化

- ✓ 中国市場での販売拡大
 - ・ 中国市場における光学用粘着剤シェア拡大
 - ・ 競争優位性の確保に向けた生産供給体制の強化

(液晶ディスプレイ市場の中期見通し)

- ・ 中国へ生産シフトした関連メーカーの設備稼働・増強により、中国での生産比率上昇
- ・ 画面大型化のトレンドが継続し、面積ベースで微増傾向



⇒ 中国市場における光学用粘着剤の需要拡大

◇新たな成長基盤の構築

- ① 次世代の柱となる事業領域の創出
 - ・ 自動車・電子部品分野での販売拡大が進展
 - ・ 成長期待分野での製品・技術開発、サステナブルな社会の実現に貢献する素材開発を推進

- ② 継続的な新規事業の創出体制の構築
 - ・ 研究機関・スタートアップ企業との新製品・技術の開発推進
 - 医療・ヘルスケア分野：抗菌・抗ウイルス材料、診断用樹脂
 - 環境・エネルギー分野：水資源確保などに役立つ次世代マテリアル

- ③ 持続的な成長を支える経営基盤の強化
 - ・ 独立社外役員を主要構成員とするコンプライアンス委員会を新設
 - ・ 環境変化への対応と新たな価値創造に向けた組織作り・人材育成

1. 全体総括

2. 2023年3月期 上期(第2四半期)連結決算

3. 2023年3月期 通期業績見通し

2023年3月期 上期業績

- ✓ 売上高は、2Q以降の液晶パネル業界での急激な生産調整の影響を受けたものの、価格改定の効果、円安に伴う中国子会社売上高の為替換算額の増加により増収
 - ✓ 営業利益は、原材料価格が高騰する中、価格転嫁のタイムラグが解消できず、需要減少に伴う工場稼働率の低下もあり減益
- (百万円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年同期比		2023年3月期 上期(計画)
			増減	%	
売上高	17,742	19,454	1,712	9.6	20,000
営業利益	1,337	1,087	▲250	▲18.7	1,300
営業利益率(%)	7.5	5.6	▲1.9	-	6.5
経常利益	1,481	1,452	▲29	▲2.0	1,300
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,179	1,080	▲99	▲8.4	1,000
期末為替レート(円/人民元)	17.1	20.4	3.3	19.2	18.0
国産ナフサ価格(千円/KL)	50.6	83.4	32.8	65.1	80.0

2023年3月期 上期セグメント別売上高



✓ ケミカルズ : 液晶ディスプレイ関連の需要減も、価格改定や円安の効果により増収、加工製品は前期下期からの新規案件により伸長

✓ 装置システム: 受注は高水準にあるも、進行中の大型工事案件が減少

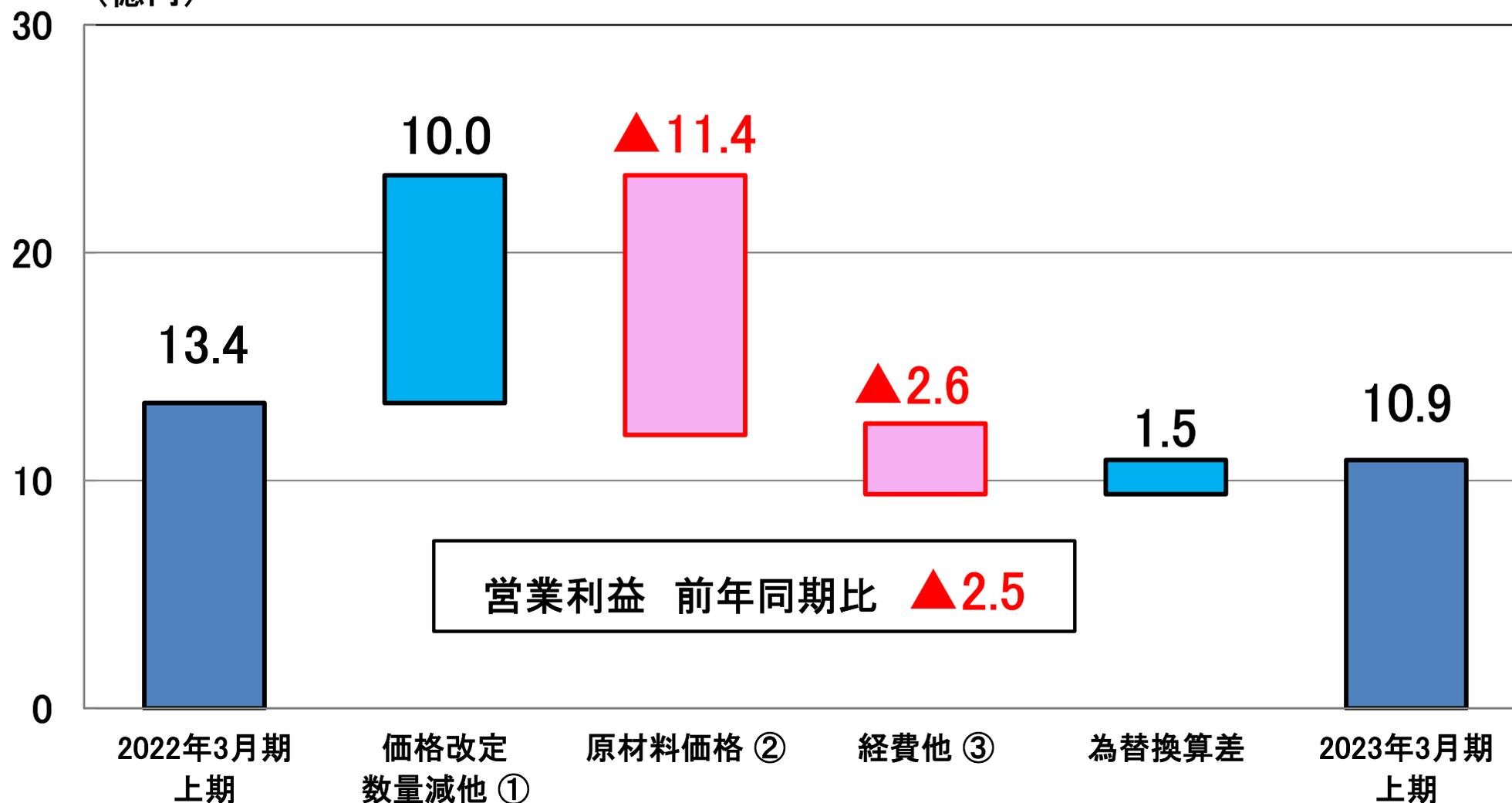
(百万円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年同期比		2023年3月期 上期(計画)
			増減	%	
ケミカルズ	15,640	17,987	2,347	15.0	18,500
粘着剤	10,015	11,372	1,357	13.6	12,100
微粉体	1,502	1,442	▲60	▲4.0	1,500
特殊機能材	1,594	1,657	63	3.9	1,700
加工製品	2,529	3,514	985	39.0	3,200
装置システム	2,101	1,466	▲635	▲30.2	1,500
合計	17,742	19,454	1,712	9.6	20,000

2023年3月期 上期営業利益分析

- ① 原材料高に対する価格是正の増益効果と、販売数量減に伴う減益影響
- ② ナフサ価格の急騰や供給不足などから想定以上に価格上昇
- ③ 物流費等の営業経費の増加、減価償却費は前期並み

(億円)



貸借対照表の状況

- ✓ 総資産：現預金や売上債権が減少した一方、原材料高による棚卸資産や設備投資に伴う固定資産の増加に加え、円安に伴う中国子会社資産の為替換算額が増加
 - ✓ 負債：為替換算額が増加するも、仕入債務や未払法人税、賞与引当金等が減少
 - ✓ 純資産：四半期純利益による増加に加えて、円安に伴う為替換算調整勘定が増加
- (百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減		2022年 3月末	2022年 9月末	増減
流動資産	27,873	27,061	▲812	負債	17,234	16,095	▲1,138
現預金等	11,203	9,862	▲1,341	仕入債務	8,886	7,382	▲1,504
売上債権	10,425	10,110	▲326	借入金	3,622	4,462	839
棚卸資産	5,656	6,548	891	退職給付債務	1,802	1,776	▲25
その他	588	553	▲34	その他	2,921	2,473	▲448
固定資産	17,708	19,408	1,699	純資産	28,348	30,374	2,025
有形固定資産	16,135	17,895	1,759	株主資本	26,403	26,892	489
無形固定資産	328	253	▲75	包括利益累計額	1,944	3,481	1,536
その他	1,244	1,260	16				
資産合計	45,582	46,470	887	負債・純資産合計	45,582	46,470	887

キャッシュ・フローの状況

- ✓ 営業CF: 税金等調整前四半期純利益の減少に加え、仕入債務の減少など運転資金が増加したことにより、前年同期に比べ大幅減
- ✓ 投資CF: 設備投資に伴う支出は、概ね前年同期並み
- ✓ 財務CF: 中国子会社での資金調達により、前年同期に比べ増加

(百万円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,707	118	▲1,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,620	▲1,717	▲97
フリー・キャッシュ・フロー	86	▲1,598	▲1,685
財務キャッシュ・フロー	▲408	▲191	217
現金及び現金同等物に係る換算差額	187	449	261
現金及び現金同等物の増減額	▲133	▲1,341	▲1,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,466	9,862	396

1. 全体総括
2. 2023年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2023年3月期 通期業績見通し

2023年3月期 通期業績見通し

- ✓ 液晶ディスプレイをはじめ各事業分野の需要回復には時間を要するものの、売上高は価格改定や円安効果などにより、前期比増収を見込む
- ✓ 工場稼働率低下に伴う減益は避けられないものの、原材料価格の上昇に応じた価格転嫁やコスト削減の進捗などから利益改善を見込む

(百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (見通し)	前期比		2023年3月期 (計画)
			増減	%	
売上高	38,638	40,000	1,362	3.5	43,000
営業利益	2,229	2,500	271	12.1	3,500
営業利益率(%)	5.8	6.3	0.5	—	8.1
経常利益	2,744	2,800	56	2.0	3,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,040	2,000	▲40	▲2.0	2,500
期末為替レート(円/人民元)	18.1	20.0	1.9	10.5	18.0
国産ナフサ価格(千円/KL)	56.8	76.7	19.9	35.0	80.0
1株当たり配当金(円)	75.0	85.0	10.0	13.3	85.0

2023年3月期 通期セグメント別売上高



- ✓ ケミカルズ : 各事業分野での販売が期初想定を大幅に下まわる中、価格改定や円安効果、加工製品の伸長などにより前期比増収を見込む
- ✓ 装置システム: 前期比減収も、受注高及び受注残高は期初想定を上回る見通し

(百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (見通し)	前期比		2023年3月期 (計画)
			増減	%	
ケミカルズ	34,215	36,000	1,785	5.2	39,300
粘着剤	21,835	23,000	1,165	5.3	25,700
微粉体	3,021	2,800	▲221	▲7.3	3,000
特殊機能材	3,521	3,100	▲421	▲12.0	3,600
加工製品	5,837	7,100	1,263	21.6	7,000
装置システム	4,422	4,000	▲422	▲9.6	3,700
合計	38,638	40,000	1,362	3.5	43,000

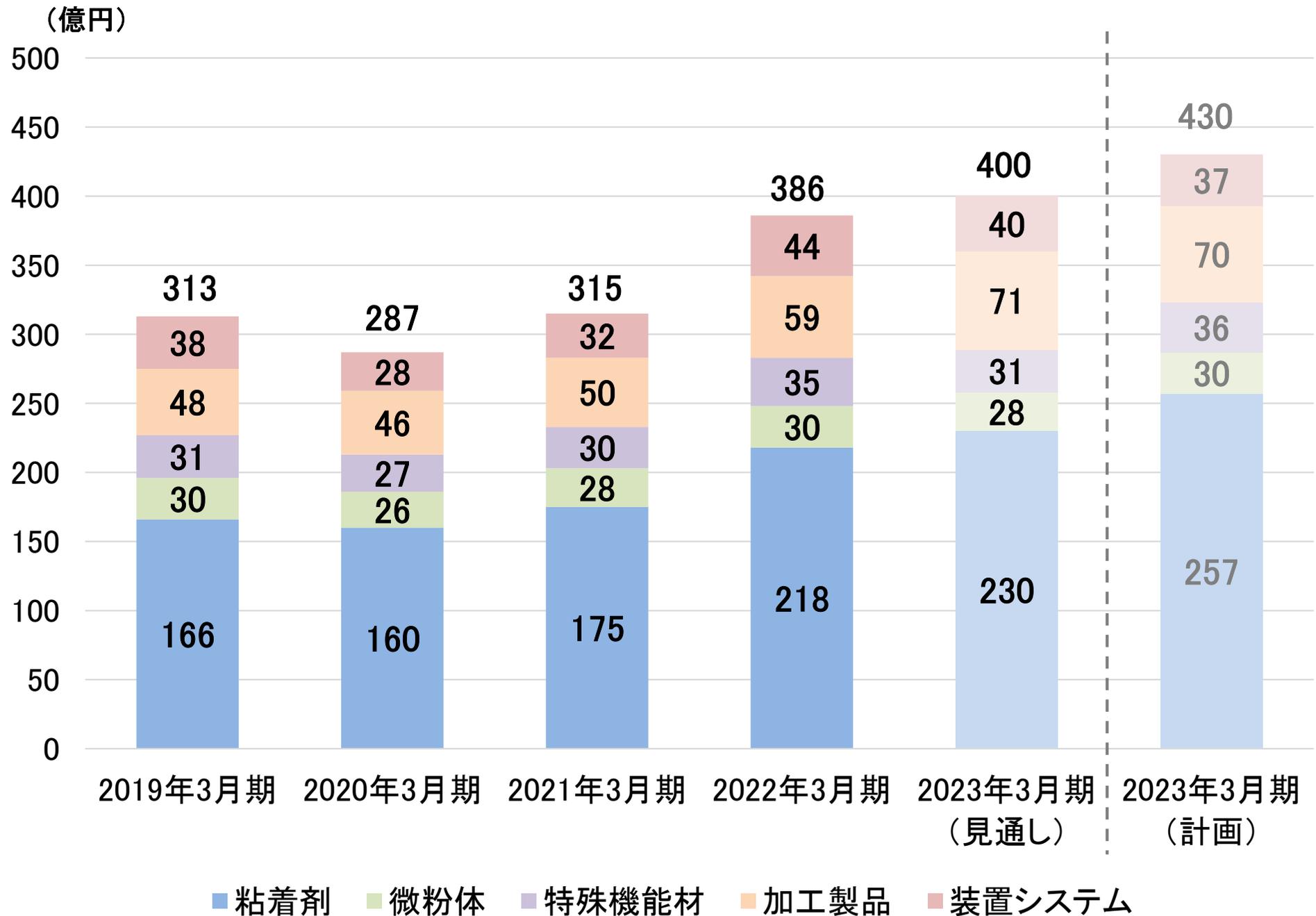
2023年3月期 通期業績見通し(半期推移)



(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比増減	
	上期 (実績)	下期 (実績)	上期 (実績)	下期 (見通し)	上期	下期
売上高	17,742	20,896	19,454	20,546	1,711	▲349
ケミカルズ	15,640	18,574	17,987	18,012	2,346	▲562
粘着剤	10,015	11,820	11,372	11,627	1,357	▲193
微粉体	1,502	1,519	1,442	1,357	▲59	▲161
特殊機能材	1,594	1,927	1,657	1,442	62	▲484
加工製品	2,529	3,308	3,514	3,585	985	277
装置システム	2,101	2,320	1,466	2,533	▲634	212
営業利益	1,337	892	1,087	1,412	▲249	520
営業利益率(%)	7.5	4.3	5.6	6.9	▲1.9	2.6
経常利益	1,481	1,263	1,452	1,347	▲28	84
当期純利益	1,179	860	1,080	919	▲99	58

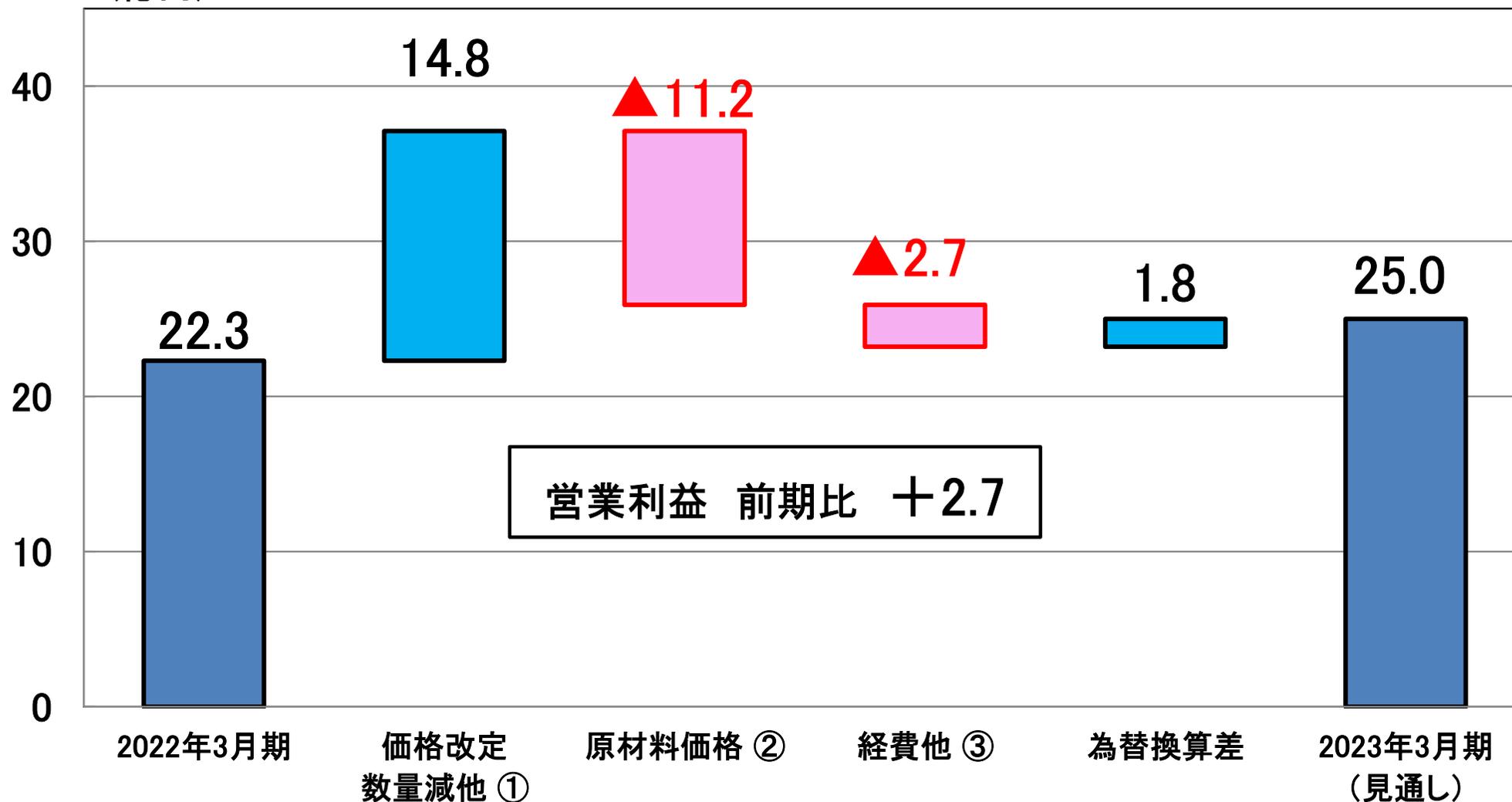
商品ユニット別売上高推移



2023年3月期 通期営業利益分析

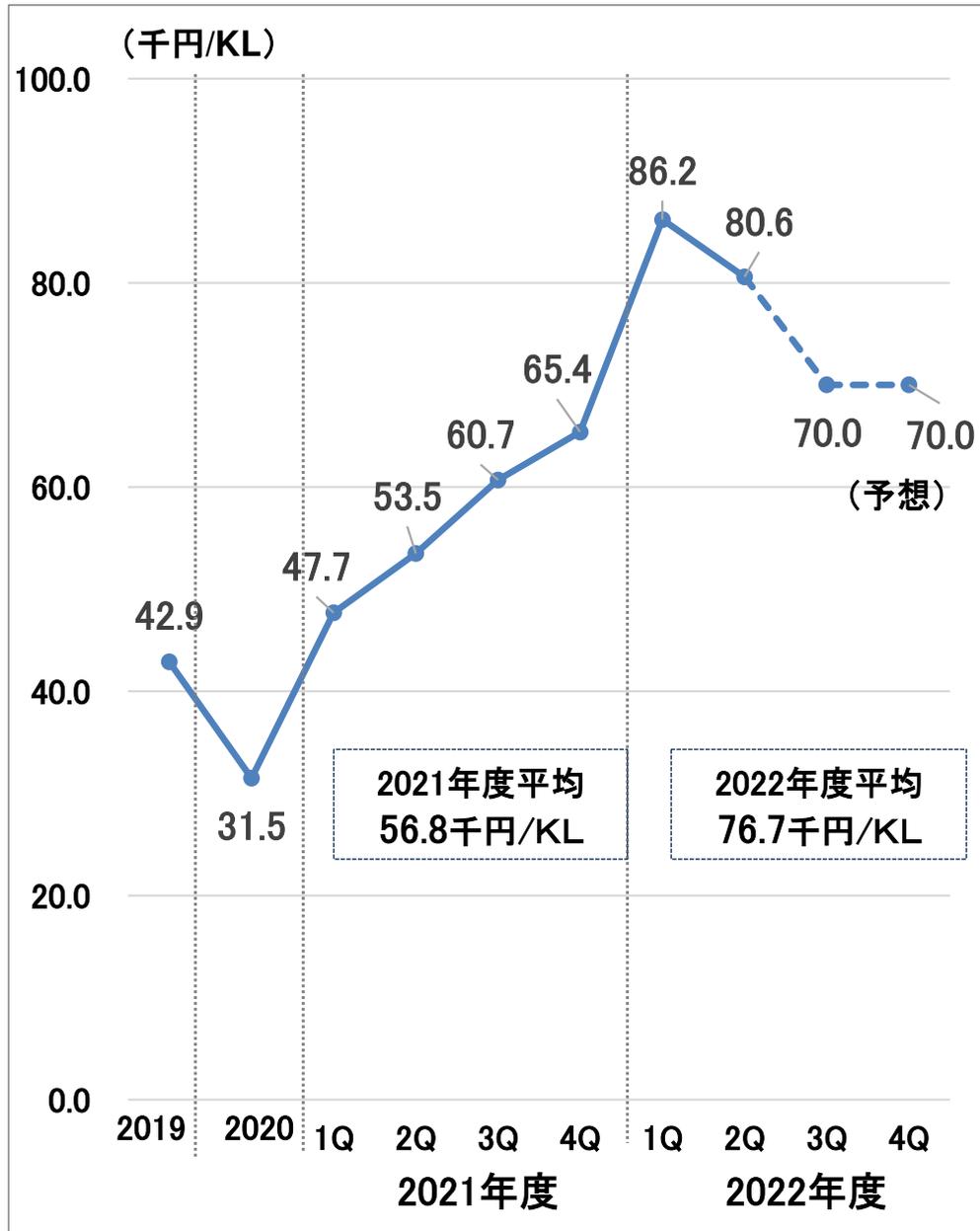
- ① 原材料高に応じた価格是正が進むも、工場稼働率の悪化が利益圧迫要因
- ② ナフサ価格は下げ傾向にあるものの、引き続き高水準で推移
- ③ 事業環境の悪化を踏まえ、下期は経費等の抑制に努め前期並みを見込む

(億円)

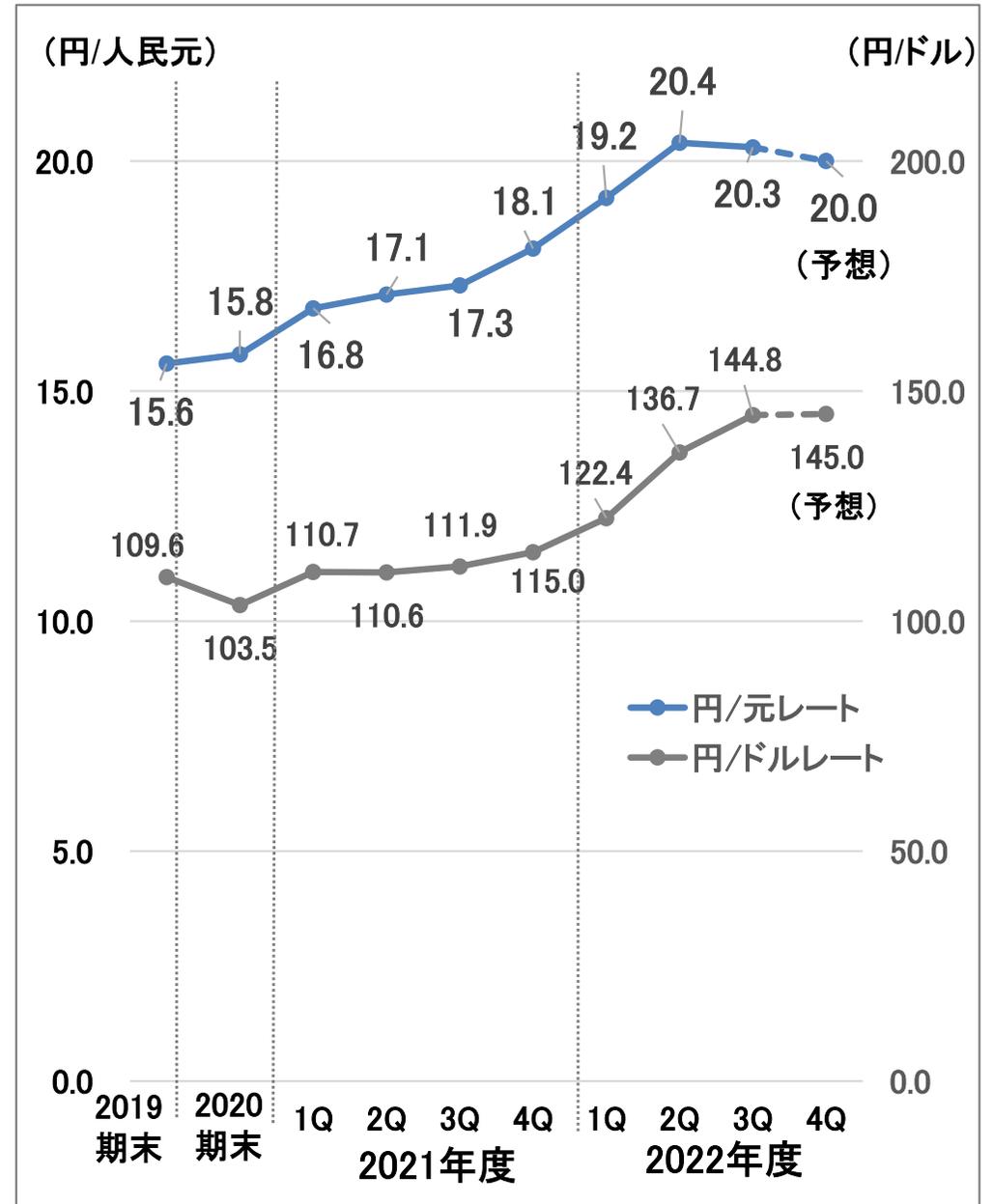


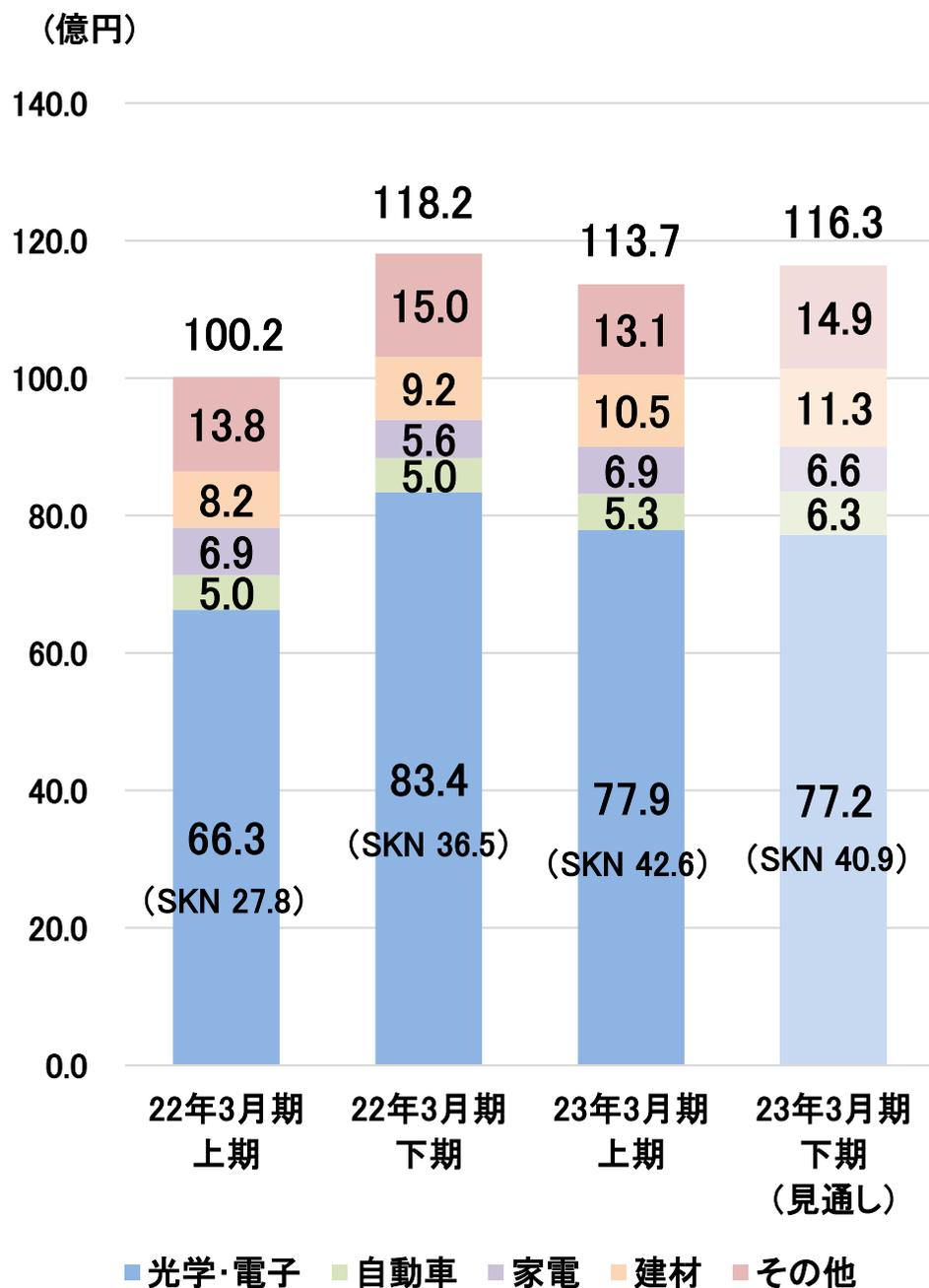
(参考) 国産ナフサ価格および期末為替レートの推移

国産ナフサ価格



期末為替レート

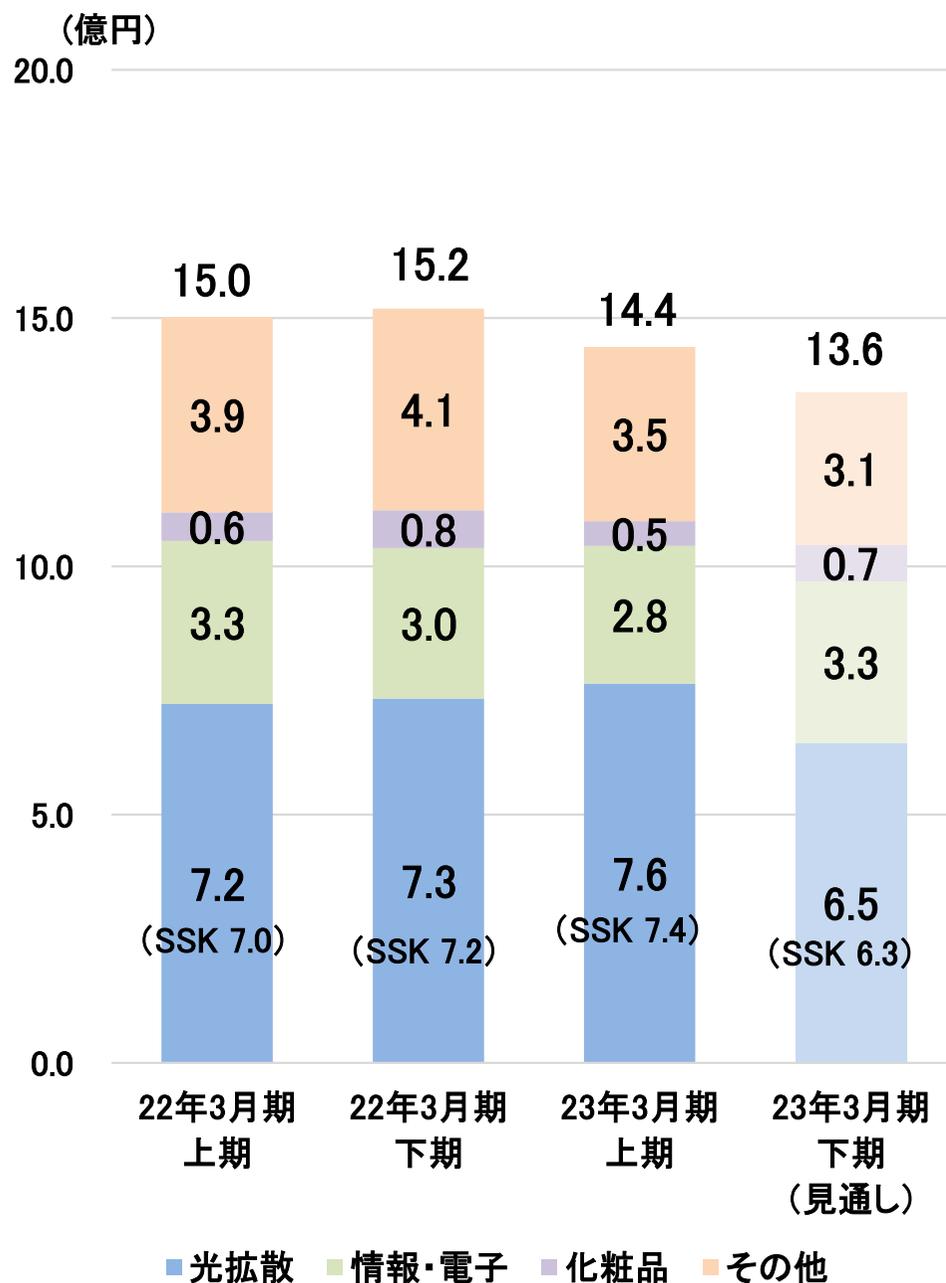




※ SKN: 中国子会社 綜研高新材料(南京)

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
光学・電子	149.7	155.1	5.4
自動車・建材他	68.7	74.9	6.2
合計	218.4	230.0	11.6

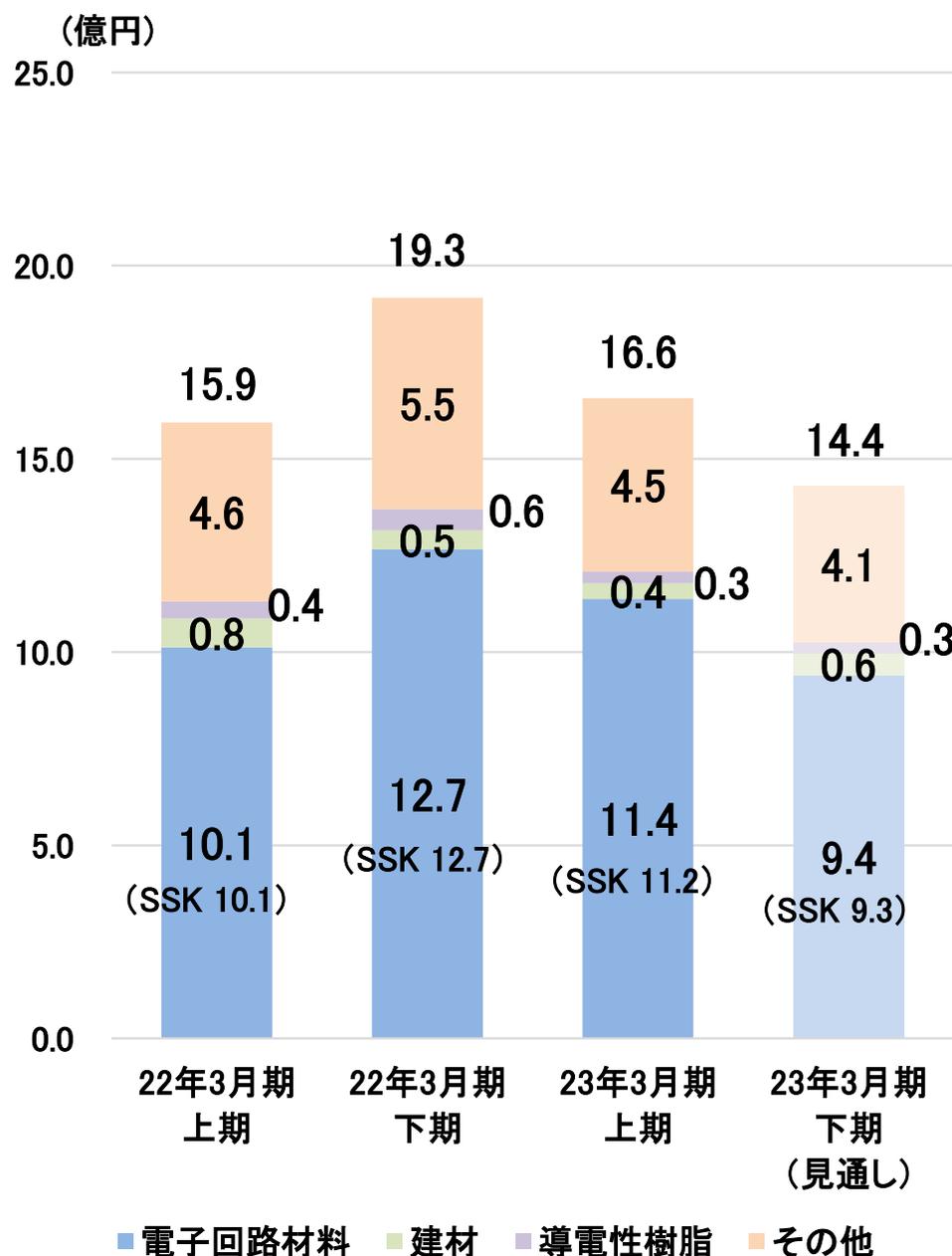
- 液晶パネル市況悪化により、偏光板・周辺用途の販売数量が、2Q以降前期を下回って推移
- 建材用途は新規案件による増販、自動車用途は下期に緩やかな回復を見込む
- 価格改定や円安効果が寄与し、対前期増収を見込む
- 原材料価格上昇に応じた適正な価格転嫁の推進
- 中国南京工場での増産設備の早期稼働
- 環境貢献製品の開発推進、新たな事業領域(用途・地域等)の調査・探索



※ SSK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
光拡散	14.6	14.1	▲0.5
情報・電子他	15.6	13.9	▲1.7
合計	30.2	28.0	▲2.2

- 液晶パネル市況悪化により光拡散用途の需要減退
- 情報・電子分野は、MLCC等の電子部品関連の需要低迷が続くも、トナー用途が復調
- 中国光拡散用途の需要低迷を踏まえ、価格改定や生産・供給体制の最適化等による収益改善の推進
- 情報・電子分野での新規顧客案件の早期立上げ
- 化粧品分野等での環境配慮型製品の開発、採用促進

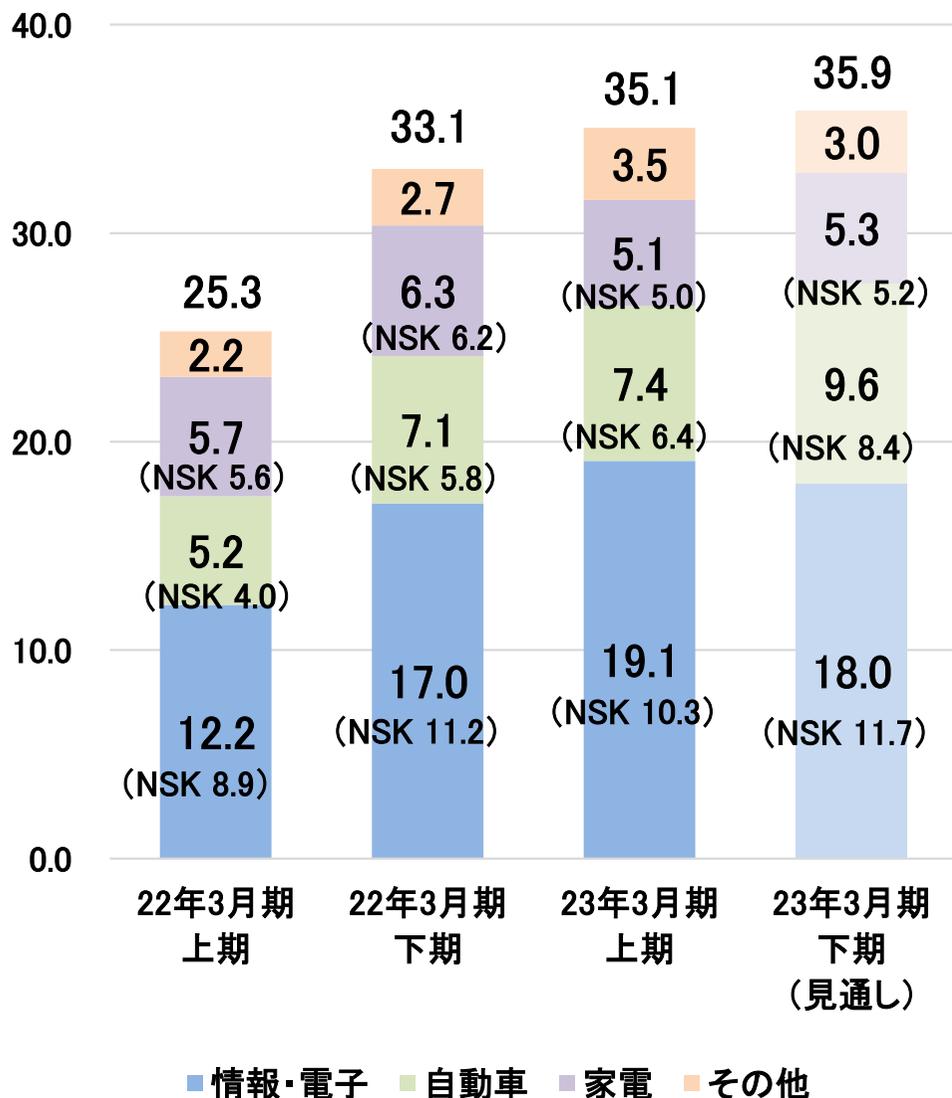


※ SSK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
電子回路材料	22.8	20.8	▲2.0
建材他	12.4	10.2	▲2.2
合計	35.2	31.0	▲4.2

- 中国スマートフォン市況の悪化などを受けて、電子回路材料用途の販売が低調に推移
- 複写機関連用途は堅調に推移も、電子部品・光学関連用途等の需要低迷
- 中国電子部品関連分野での導電性樹脂や焼成樹脂による新規案件対応、顧客・用途開拓に注力
- 今期から運用開始した中国(SSK)研究開発センターでの営業と一体化した製品開発体制の構築

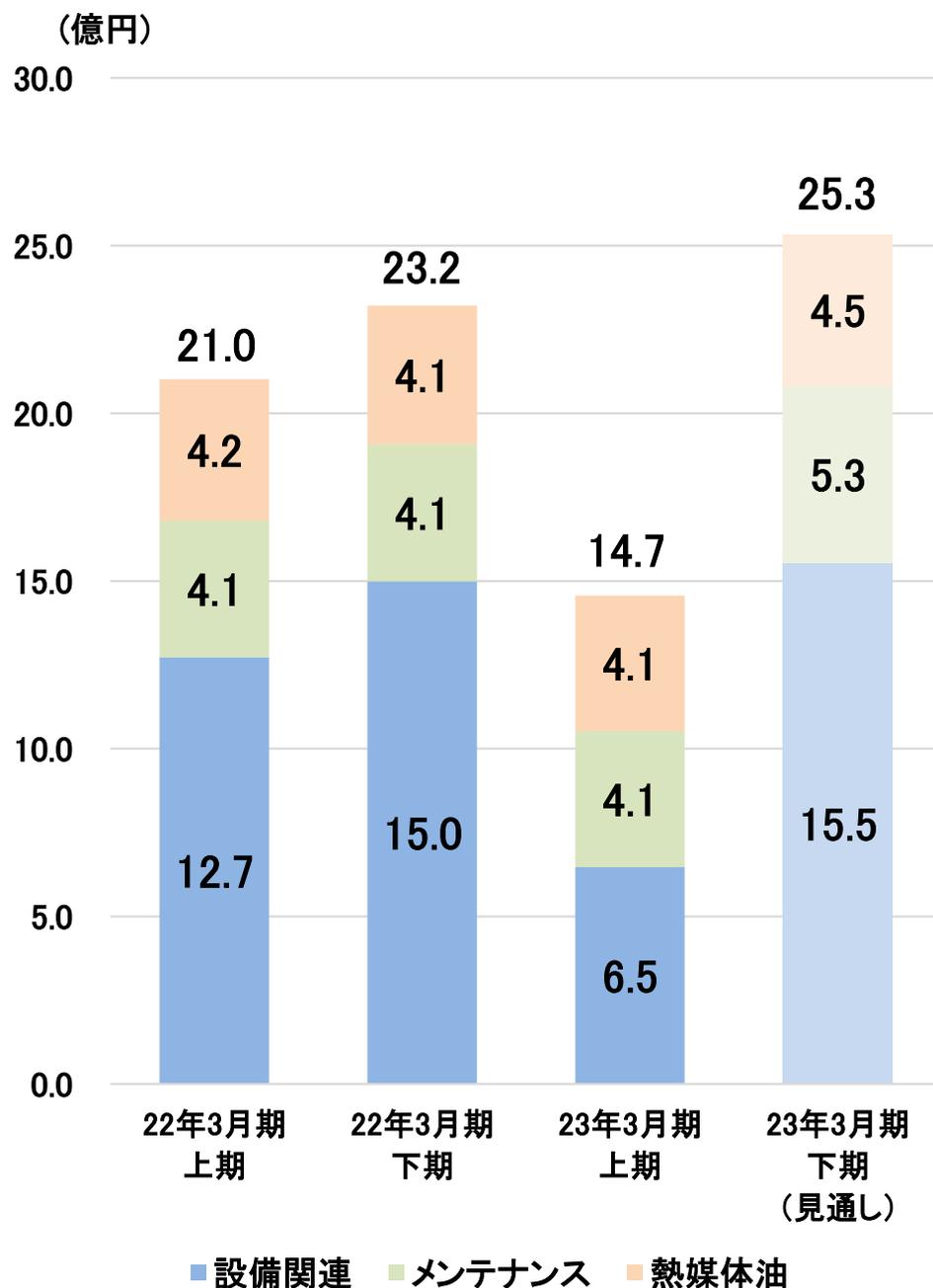
(億円)



※ NSK: 中国子会社 寧波綜研化学

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
情報・電子	29.2	37.1	7.9
自動車他	29.2	33.9	4.7
合計	58.4	71.0	12.6

- 情報・電子分野は中国スマートフォン関連の需要減少を見込むも、電子表示用途の新規案件が伸長
- 中国自動車分野は空調・内装用途での新規案件等により販売増加
- 消費低迷により家電分野は減販も、医療関連等で増販見込む
- 中国自動車市場でのEV化加速を踏まえた新規用途・顧客開拓に注力
- スマートフォン・電子表示機器等の情報・電子分野での新製品開発、医療関連用途での新規顧客・用途開拓の推進

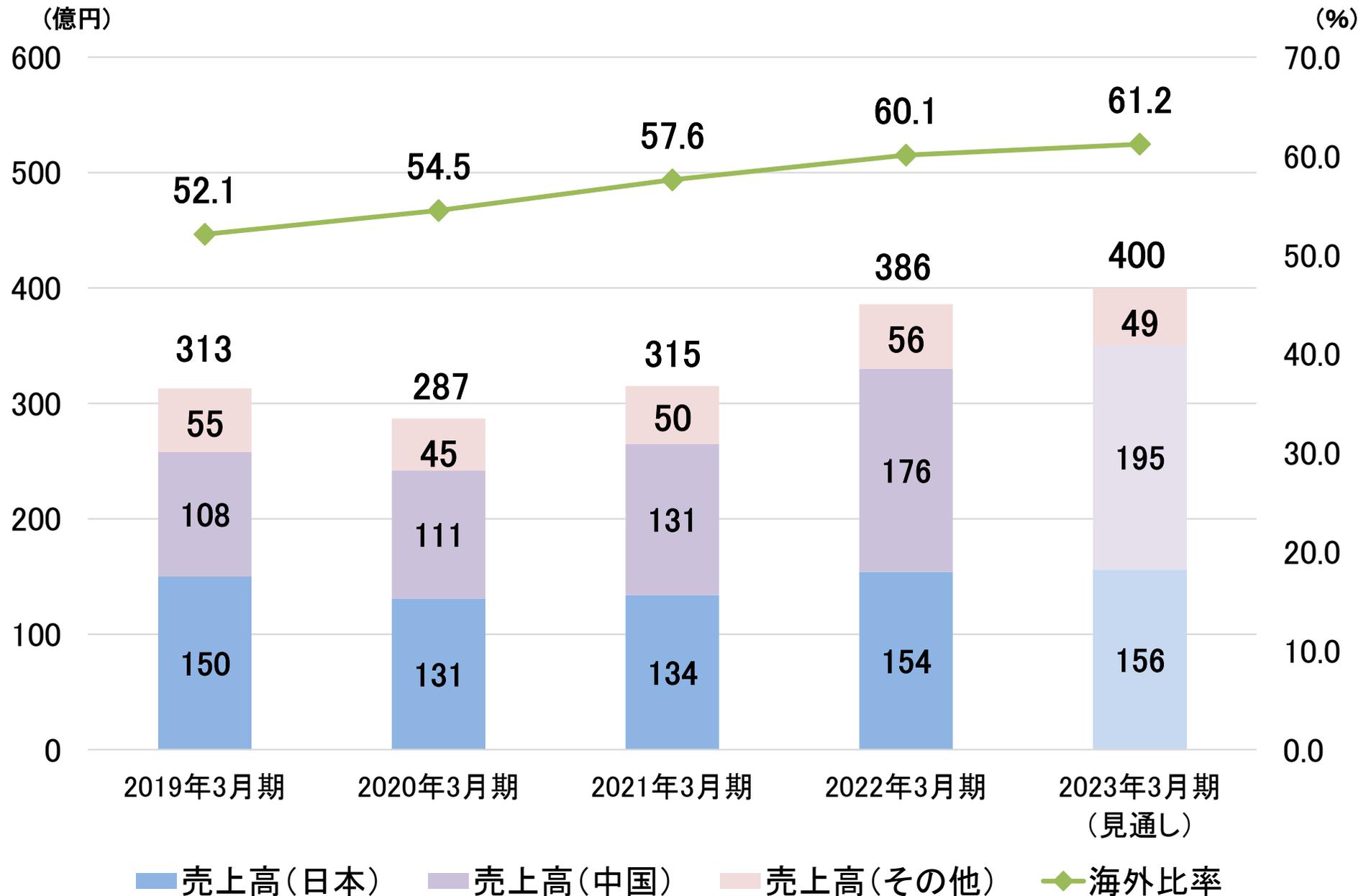


※ 今期からボイラーは設備関連に含めています。

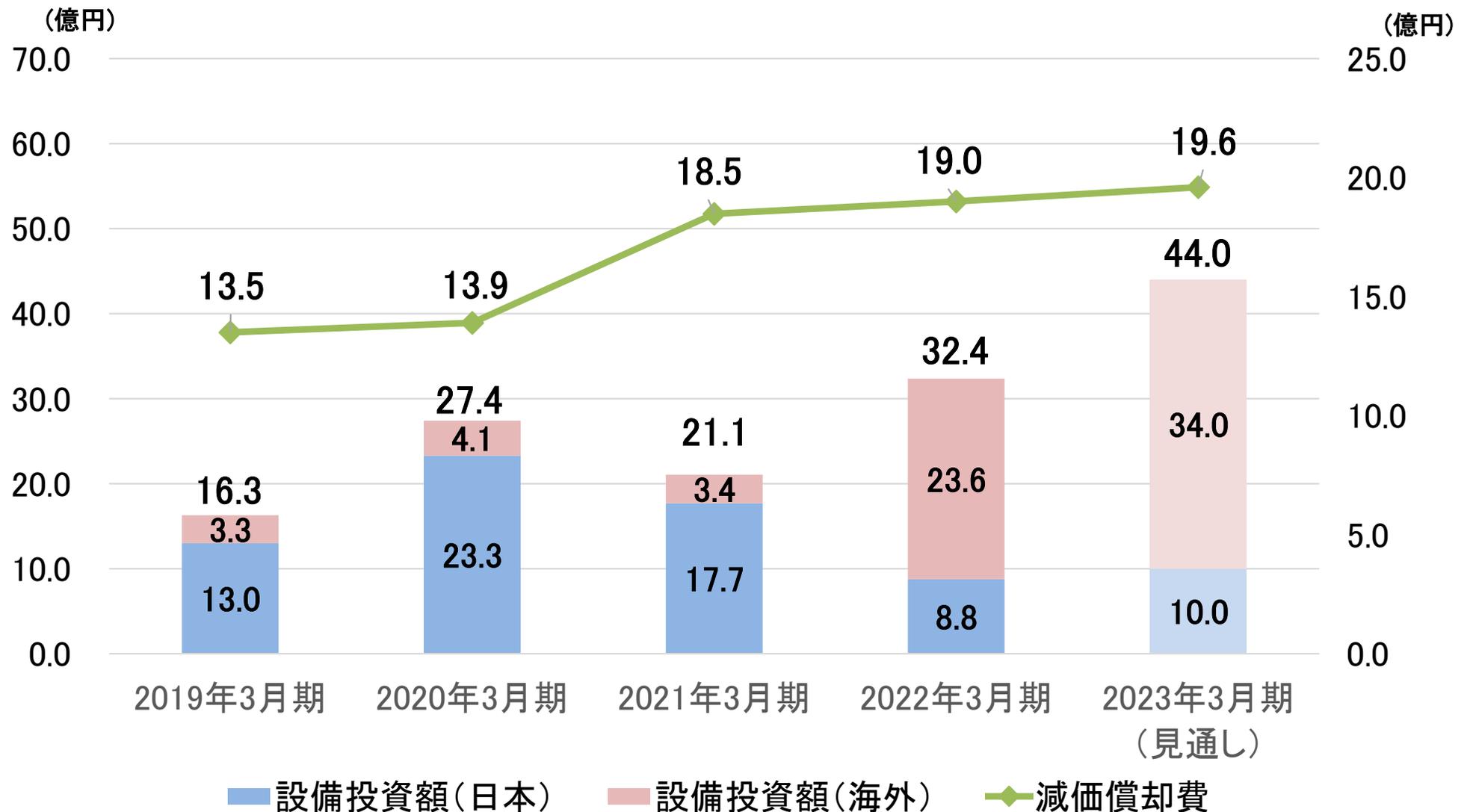
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
設備関連	27.6	22.0	▲5.6
メンテナンス・ 熱媒体油	16.6	18.0	1.4
合計	44.2	40.0	▲4.2

- 国内設備投資が回復傾向にあるなか、大型受注案件等により高水準の受注残高を確保
- 建設資材価格の上昇や電子機器等の長納期化が利益圧迫
- 建設資材等の調達環境悪化を踏まえた価格転嫁や調達力の強化
- 設備診断サービスの拡充・販促、独自の3Dシステムの活用による差別化・競争力強化に注力
- 他社協業等による新たな商品・サービスの開発推進

海外売上高推移



設備投資・減価償却費



主な設備投資(2023年3月期)

生産設備増強21.3億円、安全・環境・品質対応 7.0億円、老朽化設備更新5.9億円

参考資料

会社概要、事業内容

社名	綜研化学株式会社 (Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.)
創立	1948年9月2日
代表者	代表取締役社長 福田 純一郎
本社所在地	東京都豊島区高田3丁目29番5号
資本金	33億61百万円
証券コード	東京証券取引所スタンダード市場:4972
事業内容	ケミカルズ : アクリル系粘着剤、機能性高分子、 有機微粒子、粘着テープ 装置システム : 熱媒体・熱媒ボイラー、 プラントエンジニアリング、メンテナンス
関係会社	連結子会社5社(国内1社、海外4社)
従業員数	連結 1,119名 / 単体 407名(2022年3月末時点)

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに
創造と工夫に情熱と責任を持って
挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ
社会に役立つ革新的製品を
提供します
- 一、 お客様には心からの満足を
株主の方々には共感を
そして私たちは働く喜びを
実現していくことに
最善を尽くします

コア技術

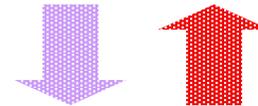
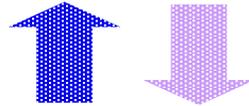
高分子合成技術

- ・ 分子設計
- ・ 粒子サイズコントロール
- ・ 無溶剤重合

&

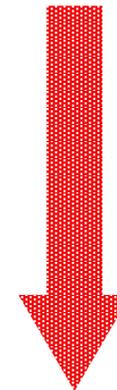
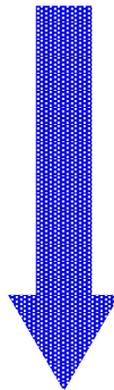
重合装置技術

- ・ プラント設計
- ・ 大型翼攪拌装置
- ・ 熱媒体・熱媒ボイラー



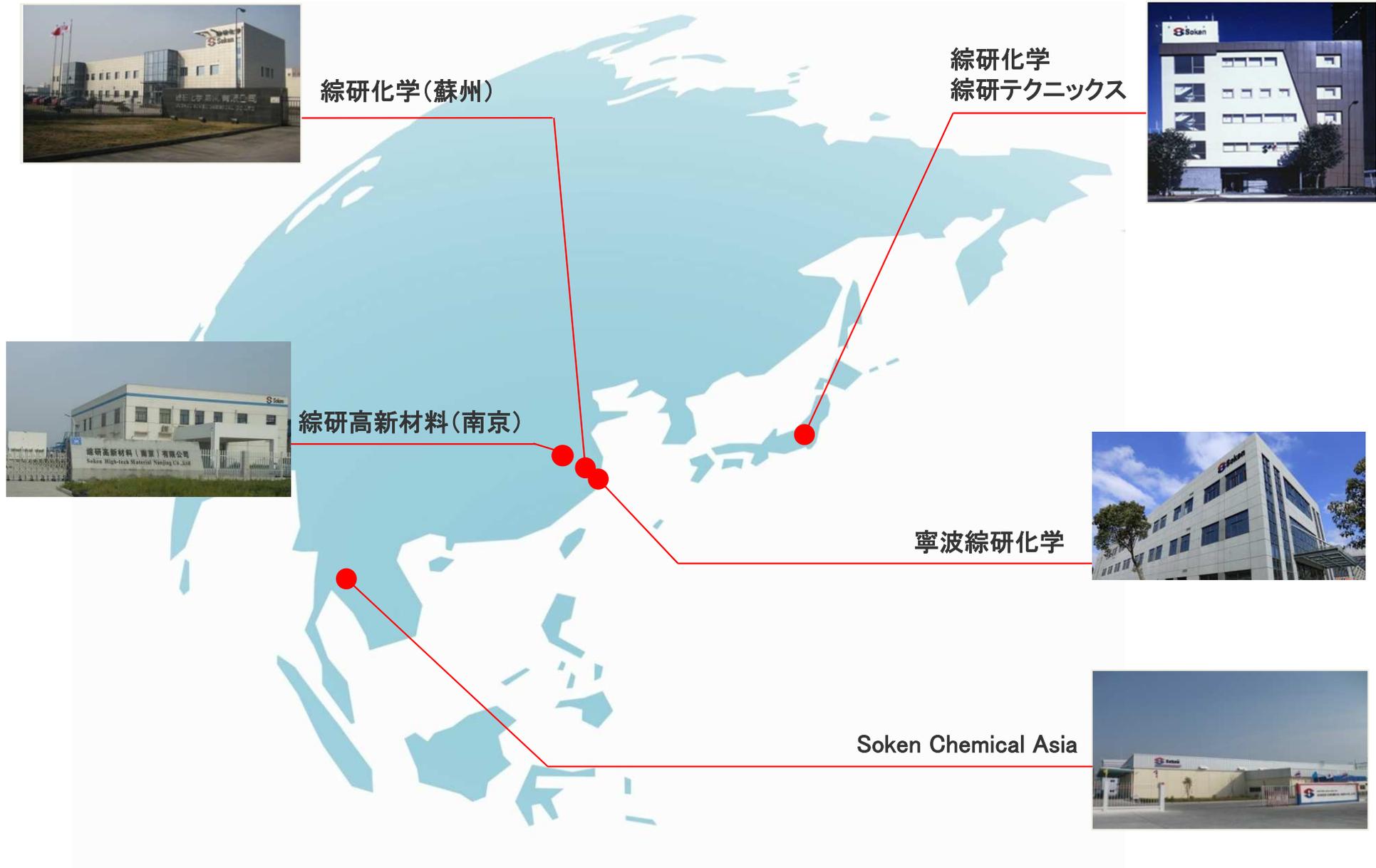
機能発現・品質評価を追求する
研究開発力

装置・システム技術を生かした
生産技術力



機能・品質・低コストの徹底追求

グループ会社の所在地



会社概要(グループ会社)

会社名 / 商品ユニット	出資比率	設立年	粘着剤	微粉体	特殊機能材	加工製品	装置システム
綜研化学	—	1948年	●	●	●	●	
綜研テクニクス	100	1997年					●
綜研化学(蘇州)	100	2002年	○	●	●		
寧波綜研化学	100	1994年	○			●	
綜研高新材料(南京)	100	2011年	●				
綜研化学アジア	100	2008年	●			●	

 連結子会社

● 販売製品・サービス ○ 自社使用等

ケミカルズ

■ 粘着剤

透明な合成樹脂溶液



用途:

LCD他光学フィルム用
両面テープ用
(家電・自動車等)
ラベル用
マーキングフィルム用

■ 微粉体

ナノからミクロンサイズの
合成樹脂粒子

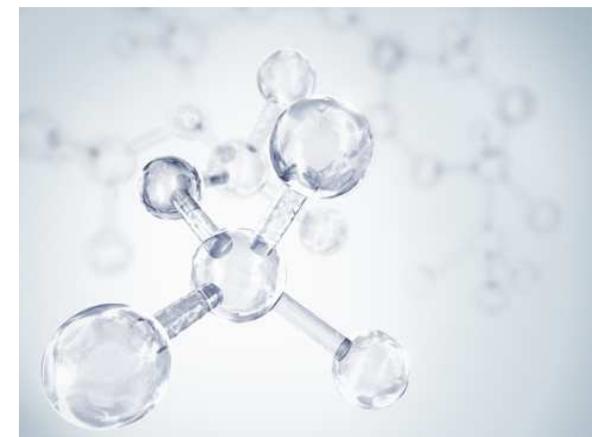


用途:

LCD光拡散用
化粧品用
トナー関連材料
フィルム用

■ 特殊機能材

様々な用途に応じた合成樹脂



用途:

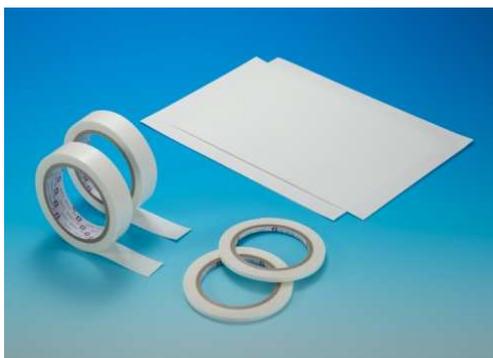
電子回路材料
インキ・塗料材料
トナー関連材料
導電性材料

ケミカルズ

■ 加工製品

粘着テープ

粘着剤を塗工した製品



用途:

スマートフォン等

(保護テープ)

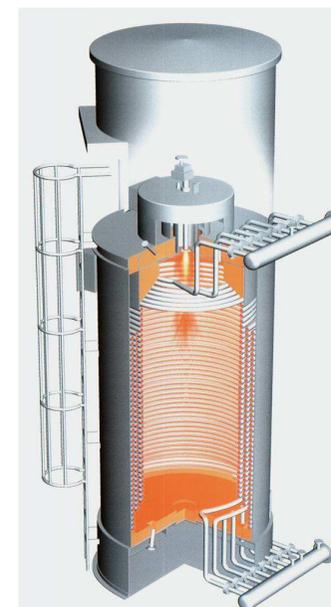
自動車等

(両面テープ)

家電・事務機等

(両面テープ)

装置システム



大型翼攪拌装置 (Hi-F)

熱媒ボイラー

熱媒体

メンテナンス

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

＜お問い合わせ先＞

綜研化学株式会社 IR・広報室

TEL 03-3983-3268

E-mail ir-soken@sokenchem.com